

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用及び未払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	118,445,979	126,392,473
未収入金	109,108,277	123,770,453
前払費用	4,643,638	4,730,801
合 計	232,197,894	254,893,727
未払金	115,928,866	138,283,351
合 計	115,928,866	138,283,351
次期繰越収支差額	116,269,028	116,610,376

3. 科目間の流用について

事業費支出の書類等交付事業費支出より 5,000円を事業費支出の書面利用移動報告事業費支出に流用した。(注1)

(単位:円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
事業費支出 - 書類等交付事業費支出	37,000	△ 5,000	32,000
事業費支出 - 書面利用移動報告事業費支出	13,000	5,000	18,000

管理費支出の業務研修費支出より 40,000円を管理費支出の旅費交通費支出、修繕費支出に流用した。(注2)

(単位:円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出 - 業務研修費支出	850,000	△ 40,000	810,000
管理費支出 - 旅費交通費支出	430,000	20,000	450,000
管理費支出 - 修繕費支出	330,000	20,000	350,000

4. 収支計算書作成の基礎

収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)及び公益財団法人自動車リサイクル促進センターの会計規程(以下、「会計規程」という。)に準拠して作成している。

また、会計規程においては、本財団における会計単位ごとに決算を行う旨(第4条)を規定している。